

この度はNAG SED内圧コントロールバルブ(NAGバルブ)をお買い求め頂きありがとうございます。この説明書はNAGバルブの標準的な取付方法をご案内するものです。取付をおこなう車体の年式、グレードにより取付方法が異なる場合があります。また製品の仕様によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなって下さい。

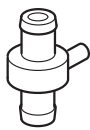
1 セット内容

最初にご確認ください。

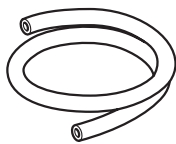


NAGバルブ
本体

エマルジョン対策仕様のみ 付属

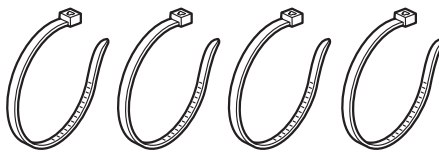


T字ジョイント



負圧チューブ

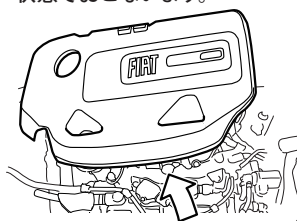
2 ご準備いただくもの



ナイロンストラップ 4本
お客様の方で用意下さい。

3 作業準備

取付作業は
エンジンカバーを外した
状態でおこないます。



4 T字ジョイントの取付

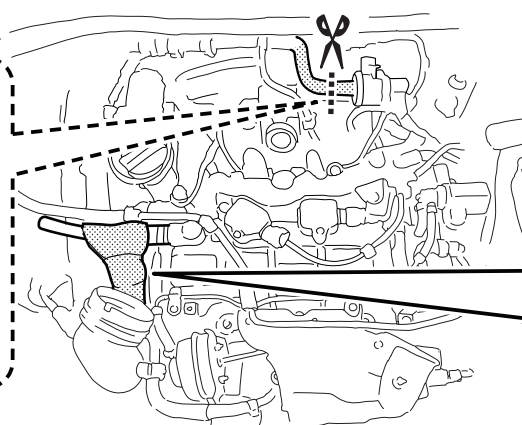
エマルジョン
対策仕様のみ

ホースをカットして、
その間にT字ジョイントを取付けます。



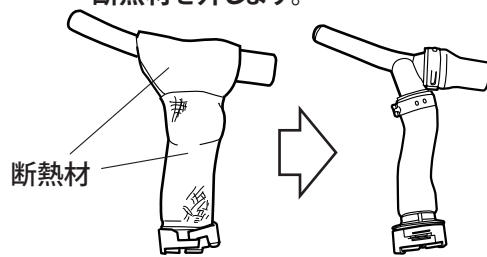
図示の矢印の
向きに
取付けます。

負圧チューブ



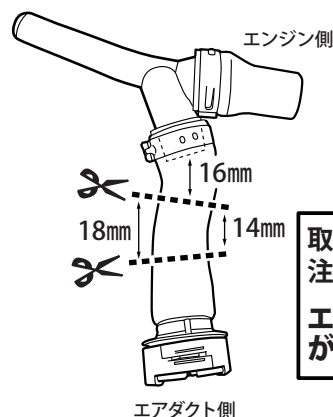
5 ブリーザーホースを外します。

ブリーザーホースに巻いてある、
断熱材を外します。



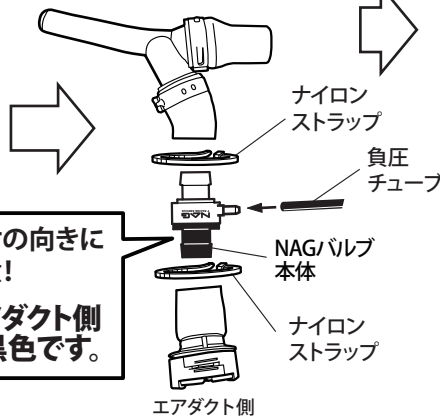
6 NAGバルブ本体の取付

ブリーザーホースを
下図を目安にカットします。



エアダクト側

カットしたホースの間に
NAGバルブを取付けます。



取付の向きに
注意!
エアダクト側
が黒色です。

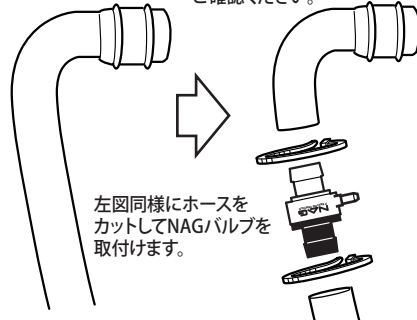
エアダクト側

ブリーザーホースを
元通りにエンジンに
取付けます。



ブリーザーホースには年式により
形状が下図のように異なるもの
があります。

このタイプは
NAGバルブの径が異なり
ますのでご注文、取付の際に
ご確認ください。



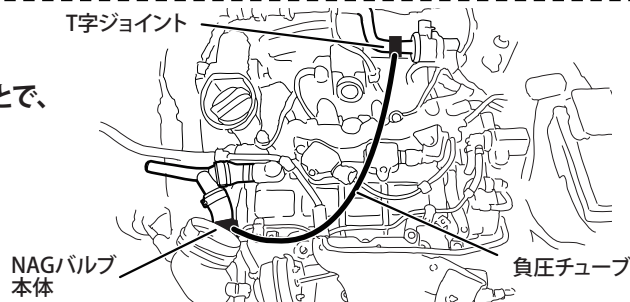
左図同様にホースを
カットしてNAGバルブを
取付けます。

7 NAGバルブとT字ジョイント間を負圧チューブで接続します。(エマルジョン対策仕様のみ)

負圧チューブが余裕を持った取り回しになるように接続してください。

寒冷地においては、負圧チューブ中央部が上がった山なりの配管にすることで、チューブ内に水分が残るのを防ぎ、凍結防止対策となります。

NAGバルブ、T字ジョイントの固定は、
ナイロンストラップで、おこなってください。
金属バンド等での過度の締付けは、変形/動作不良の一因となります。



NAGバルブ
本体

負圧チューブ

→ 以上で取り付けは終了です。 再度取付方向、部品の固定をご確認下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

定期清掃

本品はエマルジョンの処理は出来ますが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年1〜2度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお奨め致します。

清掃方法

軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いして清掃してください。汚れがひどく除去出来ないときには、キャブクリーナーを使用してください。また清掃にはブラシなどは使用しないでください。